

令和2年度 森林環境譲与税に関する決算状況一覧

NO.	事業区分	事業名	事業総額(千円)		事業内容	実績	(xi)税導入の効果
			(A)+(B)	(A)うち令和2年度の森林環境譲与税(千円)			
1	意向調査の準備作業	森林計画クラウドシステムLGWAN回線接続料	81	80	1	森林計画クラウドシステムLGWAN回線に接続することにより、職員が意向調査に必要なリストの作成作業の進捗に貢献できる	
2	意向調査の準備作業	林地台帳システム保守管理業務委託料	220	220	0	林地台帳システムの地籍データ及び林班図の更新により最新の所有者情報を維持する	
3	担い手確保	北海道林業・木材産業人材育成のため、北の森づくり専門学院の支援協議会賛助会員負担金	50	50	0		
4	人材育成等	町有林管理業務委託	1,133	880	253	地域林政アドバイザーの活用 森林経営計画等の変更に対する指導・助言をもらい、職員のスキルアップにつなげる	伐採木の選木、経営計画の変更等の指導
5	木材・普及啓発関係	図書館閲覧用机・椅子購入	517	510	7	図書館閲覧用に、木製の机・椅子を3セット購入し、利用者に木材の利用促進を啓発する	
5	木材・普及啓発関係	佐呂間町植樹祭	0	0	0	佐呂間町植樹祭の実施(木材利用普及啓発) 森林の役割や必要性を啓発するチラシ及び木製品を配布し、木材の利用普及を伝える	コロナウイルス感染症の影響で中止
6	木材・普及啓発関係	若佐小学校植林	0	0	0	若佐小学校植林の実施(木育推進) 児童及び佐呂間高校1年生らによる植樹事業をすることにより木育の推進を目的とする	コロナウイルス感染症の影響で中止
7	基金積立(森林整備等)	森林環境譲与税基金積立金	7,920	7,920		間伐等の森林整備事業実施のため、また、人材育成や木材利用等にも活用するために積み立てる	

【ワンフリーズ】  
 ・植樹祭を通して、森林・林業に対する理解啓発を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止となった。  
 ・学校用地に野球等のバット材に使用されるアオダモ等を植林し、木製品を配布することで、森林及び木材の有用性を発信し木育を推進する予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止となった。  
 【詳細】  
 当現場には林務専門の職員がいないため、意向調査の実施や森林整備に関する取組の検討に時間が掛かり、意向調査送付先リストの作成に時間を要しているため、一部活用後の残額7,920千円を積み立てた。また、R2に森林環境譲与税を活用して、民有林の整備を推進するために実施する補助事業が効果的に実施されるとともに、管内の森林所有者等が将来にわたって安定した森林整備に取り組めるよう「森林整備の水準に関する目標」(期間：R2～R10)を作成し、目標達成に向けて、令和2年度から森林整備に係る市町村単独事業を創設し活用するための積立。